

演題名	有料老人ホームにおける感染予防対策の徹底		
施設名	ライフケアガーデン熱川	(ふりがな) 発表者(職種)	つちや なおみ 土屋 直美 (准看護師)
(ふりがな) チーム名	きーぶ・せーふ・ふぉー Keep.safe.for		
分類	②安全の向上をめざすもの		
取り組種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が発生するのは、施設の外部から持ち込まれるケースが多いといわれています。「持ち込まない、持ち出さない、拡げない」この3つが感染対策に有効であるが、感染対策においては、これらの要因のうち、ひとつでも取り除くことが重要で、特に、「感染経路の遮断」は感染拡大防止のためにも重要であり、しっかりと行動できるか不安がある。		
改善の指標と その目標値	(指 標) PPE着脱に関する知識・技術 (目標値) 100%正しく習得する		
実施した対策	①-1:クイック研修(ピンポイントにまとめたもの)を申し送り時に実施 ①-2:動画視聴 ②:簡易マニュアルを作成し、見やすくする ③・④:手順テストを繰り返し実施する		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) PPE着脱に関する知識・技術:35% (実施後) PPE着脱に関する知識・技術:100%		
歯止めと 標準化	何度も繰り返してトレーニングをすることで、対策したことが元に戻らないよう標準化して、再発防止を図ります。いつでもみられるように動画のアップデートをします。		
活動の種類 ※複数選択可	②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 土屋 直美 准看護師 2 富岡 光 介護福祉士 3 肥喜里 一二三 介護士 4 佐藤 志津子 介護士 5 太田 好美 調理補助 6 杉原 瑠衣 事務 7 石居 孝幸 事務 8 武智 はづき 看護師
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ④その他		
活動期間	2021年5月 ~ 11月		
リーダー名 (職種)	武智 はづき (看護師)		
活動回数	15 回		

【現状把握】

PPE着脱トレーニング

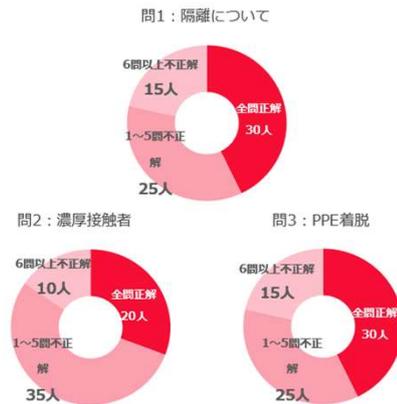
期間：2021年2月～2021年5月の4ヶ月

	参加数	実施者	できなかった人
2月	17	5	4
3月	18	5	4
4月	15	5	3
5月	18	5	2
合計	68	20	13

正しくできなかった人の割合
20件中13件
(65%)

調査日：2021年5月
作成者：土屋直美

確認テスト



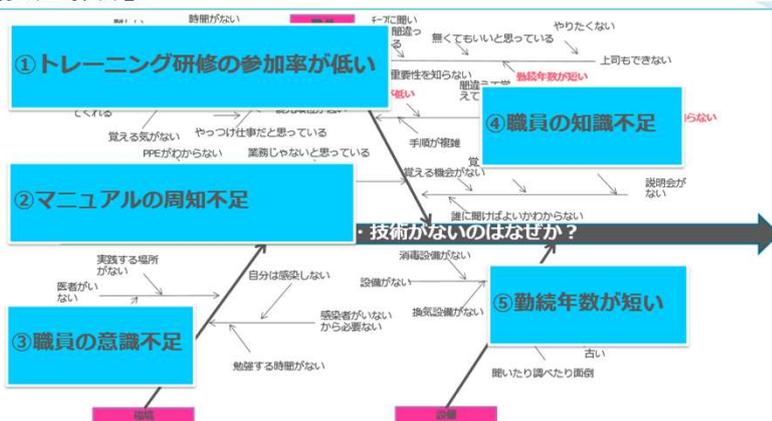
【目標設定】

何を	PPE着脱に関する知識・技術
いつまでに	10月末までに
どうする	100%正しく習得する

対象：介護職員

まずは現場職員が第一と考え対象は「介護職員」に絞りました。対策実施期間を約2ヶ月と定め、その後テストを実施し、全員が正しくできたら目標達成としました。

【要因解析】



重要要因	検証	結果	判定
① トレーニング研修の参加率が低い	月々の研修の参加率を確認(2月～5月)	月々の研修の参加率は56%であった	○
② マニュアルの周知不足	マニュアルに関するアンケート実施	マニュアルの存在及び場所をしらない：40%	○
③ 職員の意識不足	コロナウイルス対応の手順確認調査テストの実施	正解率：46%	○

重要要因	検証	結果	判定
④ 職員の知識不足	コロナウイルス対応の手順確認調査テストの実施	正解率：46%	○

重要要因	検証	結果	判定
⑤ 勤続年数が短い	研修参加率及びテスト・アンケートを勤続年数別検証	検証結果の勤続年数に関係なし	×

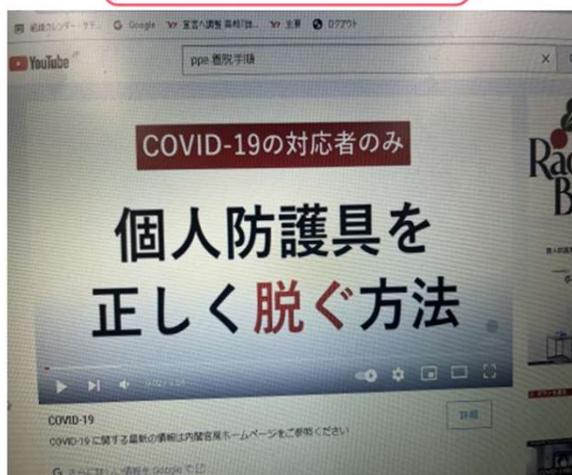
重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	コスト	時間	採
トレーニング研修の参加率が低い	研修に参加できる	いつでもトレーニングできる	①-1 クイック研修	○	○	△	13
			①-2 動画視聴	○	○	△	13
マニュアルの周知不足	マニュアルを周知させる	いつでも見れるようにする	②簡易マニュアル作成	○	○	△	13
職員の意識不足	意識の向上	重要性がわかる	③手順テスト実施	○	△	○	13
職員の知識不足	知識の向上	重要性がわかる	④手順テスト実施	○	△	○	13

【対策の立案と実施】

申し送り時に研修



動画を視聴



COVID-19 PPEの着け方 (病室外で着ける)

最初にアルコールで手指衛生を実施する

できたら

できたら

できたら

肌の露出が最小限が確認する

できたら

COVID-19 PPEの外し方 (病室内で外す)

使用後のPPEの外側表面は汚染しているため、外側表面を直接素手で触れない！

できたら

できたら

できたら

ゴーグルとマスクは外さない
PPEを外す途中で汚染したと感じたらアルコールで手指衛生を実施する

できたら

【対策の立案と実施】

項目	内容	担当者	完了日
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

項目	内容	担当者	完了日
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

【効果の確認】

目標未達成

着脱テスト数
 テスト数：30名
 正しくできなかった人：3名



【追加対策】

手順を間違えていた
 ↓
 頭で理解しているが、実際にやるとついつい間違えているもの2個
 クローズアップした写真付きマニュアルを更新・掲示



【効果の確認】

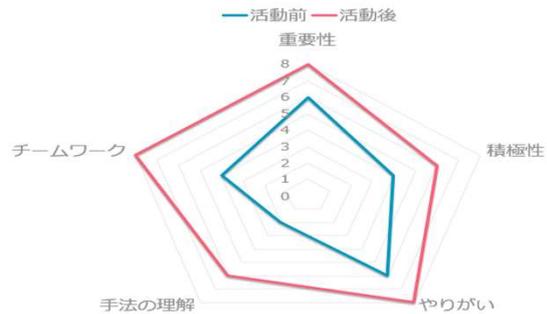
目標達成率100%！！

着脱テスト数
 テスト数：3名
 できなかった人：0名



【効果の確認】波及効果

- ・トレーニング時に、隔離等の定義も同時に勉強することで、理解が深まった
- ・トレーニングを積み重ねることにより、手順に関する不安が減った
- ・全職員にテストを実施したことにより、意識・知識が高まり、感染対策に対して、活発な意見交換ができた。



【標準化と管理の定着】

なぜ (目的)	何を (項目)	誰が (担当)	どこで (場所)	どのように (方法)	いつ (期間)
標準化	クイック研修	担当者	ステーション等	勉強会を実施	月1回
	動画視聴	担当者	委員会	映像確認	月1回
教育訓練	知識/技術の向上	看護師	委員会	勉強会を実施	月2回
実施状況	知識/技術の向上	看護師	委員会	テスト	月1回

【反省と今後の進め方】

ステップ	良かった点	悪かった点	今後の進め方
テーマの選定	やりたい事ができた	なし	看護中心に取り組む
現状の把握と目標の設定	職員のコロナ感染対策に関する知識等を確認することができた	なし	今後も現状を把握していく
活動計画作成	役割分担する事で責任感がもてた	なし	今後もチームで連携して進める
要因の解析	多くの要因をだし、丁寧に解析できた	検証が不十分なものもあった	多くの要因をだしてより良い解析をしていく
対策の検討と実施	看護部中心で活動し介護職員もみんな協力的だった	対策の実施に時間がかかった	今後も看護部主導で取り組んでいく
効果の確認	中間点検し、対策追加することで目標達成できた	全ての職員を対象にできなかった	全職員を対象にできるようにする
歯止めと標準化	感染対策の知識と技術があがった	なし	今後も質が維持できるように、見直し計画等を行う